

研究ノート

視聴者にとっての政治討論番組 —サンデープロジェクトと日曜討論の分析—

常 木 暎 生

Political discussion programs for audience: an analysis of Sunday Project and Sunday Discussion

TSUNEKI Teruo

Abstract

Though the interest in Japanese politics by the populace at large is low, political discussion programs maintain certain audience ratings and are frequently broadcasted. The speech and actions of two chairpersons in two political discussion programs, Sunday Project and Sunday Discussion, are analyzed by content analysis and the SD method from the viewpoint of what kind of impressions are given on the audience. The chairperson of Sunday Discussion concentrates on equal distribution of opinions and does not give a remarkable impression on the audience. In contrast, the chairperson of Sunday Project, Soichirou Tahara, makes the discussion familiar, active and amusing, he is offensively emotional, appears to do irritated and flattering, and there by stimulates the audience's sensibilities. By his behavior, the audience feels amused and takes an interest in political discussion programs.

Keywords: political discussion programs, Sunday Project, Sunday Discussion, television and politics, television journalism

抄 録

日本人の政治意識は低いと言われているけれども、政治討論番組は一定の視聴率を確保し、長期間に渡って放送されている。サンデープロジェクトと日曜討論の二つの政治討論番組における司会者の言動が視聴者にどのような印象を与えているかを内容分析とSD法によって分析した。日曜討論の司会者が発言権の分配に徹して、際立った印象を与えていないのに対し、サンデープロジェクトの司会者田原総一郎は討論を親しみ易く、活性化させ、楽しいものに行っている反面、攻撃的、感情的で、苛立たしさ、迎合的といった印象を与え、視聴者の感性を刺激している。これにより視聴者は政治討論番組をおもしろく感じ、興味を示すようになっている。

キーワード：政治討論番組、サンデープロジェクト、日曜討論、テレビと政治、テレビ・ジャーナリズム

1. はじめに

本研究の目的は政治討論番組における司会者の言動が視聴者にどのような印象を与えているかを実証的に分析することである。分析の結果を示す前に、政治討論番組について簡単に論じて置きたい。

1-1. 日本における政治討論番組の歴史

日本で定時の政治討論番組がテレビに始めて登場するのは、1960年のNHKの「国会討論会」と言われている。もちろん単発的な政治討論番組、たとえば自民党、社会党、民社党による三党首会談などはそれまでも放送されていた。この年には政治評論家が主役のTBSの「時事放談」も始まっている。1965年には日本テレビの「日曜記者会見」が開始され、1970年まで続いた。1970年にはフジテレビの「ピジョン討論会」が始まっている。1980年になると「ピジョン討論会」が終了し、「竹村健一・世相を斬る」に衣替えをする。このころは「時事放談」、「日曜討論」、「竹村健一・世相を斬る」の政治討論番組が存在していた。

そして1980年代末から政治討論番組に変化が生じる。1989年に新たな政治討論番組、テレビ朝日による「サンデープロジェクト」が開始され、四つの政治討論番組が並立するようになった。さらに、それまで政治討論番組は事前に収録していたものを編集して放送する形を取っていたが、この時期から原則的に生放送となった。なお1992年に「竹村健一・世相を斬る」は「報道-2001-」に変わり、1993年に「国会討論会」は「日曜討論」に名称を変更している。

このような背景には1980年代後半から急激に報道番組が増えたことがあるとの指摘（稲葉、2003）も見逃せない。テレビ朝日「ニュースステーション」（現「報道ステーション」）、TBS「ニュース22・プライムタイム」（現「筑紫哲也ニュース23」）、NHK「ニュース・トゥデイ」などがこの時期に開始されている。これら報道番組に有力政治家、注目政治家が生出演することは珍しいことではない。さらに言えば、現在では各種バラエティ番組にも政治家が登場するようになっている。このように政治家が報道番組のみならず、さまざまな番組に進出してゆく流れと政治討論番組の定着化は密接に関係していると思われる。

ところで政治討論番組は日曜日午前に集中して放送されている。この理由について、山本・蓮見（1993）は「週休二日制の普及により日曜日午前が単なる休息日から翌日からの一週間に役立つ話題の準備期間に当てる時間と想定される」と述べている。

1989年から現在に至るまで、日曜日午前には「時事放談」（TBS、6時～6時45分）、「報道-2001-」（フジテレビ、7時30分～8時55分）、「日曜討論」（NHK、9時～10時）、「サンデープロジェクト」（テレビ朝日、10時～11時45分）が放送されている。ただし「報道-2001-」は政治討論シーンが主要なコーナーになっているが他のニュースにもかなりの時間が割かれているため、純粋な政治討論番組とはいえないかもしれない。

政治討論番組はどうかやテレビ番組ジャンルのひとつとして確立したと考えてよい。

1-2. 政治討論番組の特徴

日本人の政治に関する意識の低さが指摘されるなか、これらの政治討論番組は低いながらも一定の視聴率を確保し、長期間にわたって継続している。政治討論番組のどのような特徴が視聴者に受け入れられているのであろうか。以下に仮説的に述べて行く。

政治討論番組は司会者（キャスター）がゲストである政治家に政策のポイントについて端的に質問し、政治家が論点をそらさず明快に答えて行くという形式をとる。司会者、ゲストが話す時間は限られている。そこで、重要な論点について、わかりやすく質問し、はっきりと答えることが要求される。このため、視聴者にとって議論が理解しやすく、興味深いものになっていると思われる。ただし、微妙なニュアンスが省略され、時には極端な見解が述べられることがある。司会者の挑発的な質問に対して、ゲストが発言をエスカレートさせて行くのである。

また、発言のみならず、司会者、ゲストのノンバーバルなサインが視聴者に伝達される点は重要である。ゲストである政治家の、普段は抑制された感情、気持ちが表情、視線や手の動きにひょっこりと反映され、視聴者に生身の人間に接した感じを与え、親近感を与えている。もっとも最近の政治家は俳優のように演技しているものも少なくないように見受けられるけれども……。

さらに多くの政治討論番組が生放送であることも見逃せない。やり直しが利かないため、刺激的な司会者の問いかけに対し、ゲストのうっかりした発言、本音、失言などがそのまま視聴者に伝わる。これが視聴者にとって、政治討論番組をおもしろく感じさせる一因となっていると思われる。

このように、淡々と経過を伝えるニュース番組とは異なって、政治討論番組では、司会者と政治家の議論、政治家同士の論議が活性化され、視聴者にとって政治討論を楽しめるもの、興味あるものになっているのではなかろうか。しかしながら、ある面では、高尚で難解な政治の話のワイドショー化、バラエティ化しているとも言えよう。このことにより、

視聴者が政治そのものに関心を持つようになったかどうかはわからないが、少なくとも政治討論を身近にしていると思われる。

1-3. 政治討論番組における司会者の役割

一般に議論の場での司会者の役割は、基本的には、議事進行の管理である。本田（2004）はテレビ討論司会者の発言例をSscksら（1974）、Greatbatch（1988）、Saft（1989）などの研究を参照しながら、詳細に分析し、討論進行管理者としての司会者の役割を表1のようにまとめている。ここで、ターンは参加者が話す権利（発話権）のこと、ターン分配は発話権を特定の参加者に付与すること、パラフレージングは先行話者の発言を要約したり解説を加えることを意味している。要するに討論の進行管理者として、司会者は「質問」により参加者に発話権を分配し、「あいづち」により発話促進および発話保護を行ない、発話者の「見解伝達」により議論の展開を図っている（本田、2004）。

表1. 討論進行役としての司会者の役割

行 為	役 割	
質 問	ターン分配	ターン&発言権の参加者への分配
あいづち	発話促進 発話保護	「聞き手」であることの表明→自己の発言権の放棄→現行話者の発言促進&発言権保護
	次ターン獲得準備& ターン交代シグナル	自己のターン確保→ターン分配役遂行
(先の発言者の) 見解伝達	パラフレージング	参加者の見解の要約、解説&議論の展開→参加者&視聴者の理解促進

ここに挙げられた役割は、先に述べたように一般の討論での司会者の役割で中立的な立場を維持するものである。政治討論番組では、「日曜討論」のようにこの役に徹している司会者も存在するが、「サンデープロジェクト」の田原総一郎に代表されるように、これに留まらない役割を取る司会者も少なくない。議論の活性化を図るためか、自分の意見を積極的に述べたり、わざと挑発的な質問をしてゲストを感情的に刺激することもある。むしろ司会者が中立的な立場からの逸脱を巧みに混ぜることが、政治討論番組で視聴者の興味を引き付けていると思われる。

1-4. 研究の目的

政治討論番組の特徴、司会者の役割に述べてきたことを実証的に検証することがこの研

究の目的である。司会者の取る役割が対照的な「日曜討論」と「サンデープロジェクト」を分析対象番組とするが、政治討論番組の現代的な特徴を持つ「サンデープロジェクト」の分析を主眼とし、その特徴を鮮明に描き出すために「日曜討論」と比較する。ただし討論シーン全体を分析対象にするのではなく、司会者の言動に注目する。これはここに政治討論番組の特徴が最もはっきりと反映されていると思われるからである。司会者の言動の特徴を両番組で数量的に比較し、それらの特徴が視聴者にどのような印象を与えているかをSD法によって明らかにする。そして、政治討論番組が視聴者にとってどのように位置付けられているかを検討する。

2. 研究の方法

2-1. 内容分析

(1) 分析対象番組

2005年5月16日(日)に放送された政治討論番組サンデープロジェクト（テレビ朝日、10時～11時45分、司会者は田原総一郎）と日曜討論（NHK、9時～10時、司会者は山本孝）のうち、司会者およびゲストの討論シーンを分析対象とした。

(2) 測定方法

下記測定項目のうち①～④については、両番組の討論シーン開始から2,238秒間（サンデープロジェクトではCM時間を除く）、⑤⑥については、その時間のうち司会者が単独で映っている場面の合計308秒間を測定対象にした。両番組の比較を容易にするため、それぞれの測定対象時間を同じにした。

測定の仕方はまず下記の測定項目のうち①～④について、測定者全員がビデオテープを見ながら、シーンごと（あるカメラの映像から別のカメラの映像に切り替えが行なわれるまでの場面）にそれぞれの回数を数え、次にテープを巻き戻してシーンごとに⑤⑥について再び回数を数えた。5月18日にサンデープロジェクトを、5月25日に日曜討論を測定した。

測定者は常木ゼミ3年生13名から16名であるが、採用したデータは合計4回の測定に参加した者のうち、測定ミスのあった者を除く計11名分である。

(3) 測定項目

測定の対象は司会者（キャスター）の発言、非言語行動である。測定項目案のうち、予備的な測定を数回繰り返して測定が困難でないものを選択し、次の6項目を採用した。

① 他者の発言中への割り込み（発言のさえぎり）

- ② 自分の意見を言う
- ③ 他者へ意見を求める
- ④ あいづち
- ⑤ 手の動き
- ⑥ 笑顔

2-2. 印象評定

上記測定項目がどのような印象を与えるのかを検討するため、11月14日に上記番組「サンデープロジェクト」の討論シーンの一部（約10分間）を見せた後、152名の評定者によって、30項目からなるSD法データを収集した。なお5月下旬に一旦この測定を行なったが、一部の項目にミスがあったため、改めて評定してもらった。

これら30の印象評定項目は以下の通りである。

- 1. 議論の活性化—議論の不活性化
- 2. 攻撃的—非攻撃的
- 3. 苛立っている—落ち着いた
- 4. 勇気付け—勇気付けない
- 5. 支持的—非支持的
- 6. 親しみ易い—親しみにくい
- 7. わかりやすい—わかりにくい
- 8. 親近感を与える—拒絶的
- 9. 感情的—理性的
- 10. 議論の深化—議論の表面化
- 11. 自己主張的—自己主張的でない
- 12. 見ている—見ているつまらない
- 13. アクセントのある—アクセントのない
- 14. 活発な—不活発な
- 15. 緊張感を与える—のんびりした
- 16. 熱い—冷めた
- 17. 良い—悪い
- 18. 好き—嫌い
- 19. おもしろい—つまらない
- 20. にぎやかな—静かな
- 21. 積極的—消極的
- 22. 明るい—暗い
- 23. 複雑な—単純な
- 24. 暖かい—冷たい
- 25. 低俗な—高尚な
- 26. 協調的—非協調的
- 27. 過剰な—抑えた
- 28. 娯乐的—非娯乐的
- 29. 迎合的—非迎合的
- 30. 柔らかい—硬い

これらの対になった30項目の評定は「非常に」「かなり」「やや」「どちらともいえない」「やや」「かなり」「非常に」の7段階で行われた。平均値を算出するため、対になった形容詞の左側より7点から1点までの数値化を行なった。

3. 結果

3-1. 内容分析結果

サンデープロジェクトと日曜討論において、司会者が行なった行動のうち、他者の発言中への割り込み（発言のさえぎり）、自分の意見を言う、他者へ意見を求める、あいづち、手の動き、笑顔の回数を数え、11人の評定者の平均値、標準偏差を求めたものが表2であ

る。図1～6は平均値を示したものである。以下にこれら6項目について述べて行く。

表2. 測定項目の平均値（回数）と標準偏差

		平均値	標準偏差
割り込み	サンプル	32.82	9.89
	日曜討論	3.82	2.09
意見を言う	サンプル	18.36	11.47
	日曜討論	2.27	1.62
意見を求める	サンプル	27.00	7.77
	日曜討論	22.55	0.82
あいづち	サンプル	35.36	20.66
	日曜討論	12.73	10.03
笑顔	サンプル	1.64	0.92
	日曜討論	1.36	1.50
手の動き	サンプル	96.36	8.92
	日曜討論	136.91	17.03

(1) 他者の発言中への割り込み（発言のさえぎり）

サンデープロジェクトでは測定時間（2,238秒）の間に「他者の発言中への割り込み」が32.82回行われ、一方の日曜討論では3.82回となっている。明らかにサンデープロジェクトのほうが「他者の発言中への割り込み」回数が多いと思われる。これを確かめるため、t検定を行なったところ、t値が10.116となり、0.1%レベルで有意差が見られた。この結果、サンデープロジェクトのほうが日曜討論よりも「他者の発言中への割り込み」回数の多いことが確認された。

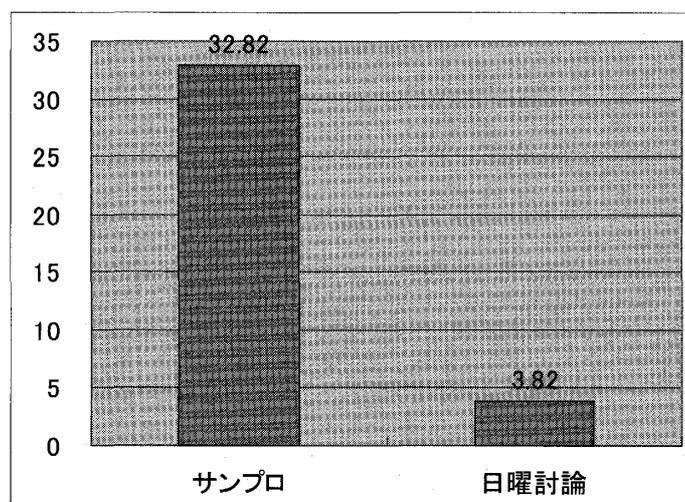


図1. 他者の発言中への割り込み回数

(2) 自分の意見を言う

サンデープロジェクトでは測定時間の間に「自分の意見を言う」が18.36回行われ、これに対して日曜討論では2.27回となっている。明らかにサンデープロジェクトのほうが「自分の意見を言う」回数が多いと思われる。これを確かめるため、t検定を行なったところ、t値が4.730となり、0.1%レベルで有意差が見られた。この結果、サンデープロジェクトのほうが日曜討論よりも「自分の意見を言う」回数の多いことが確認された。

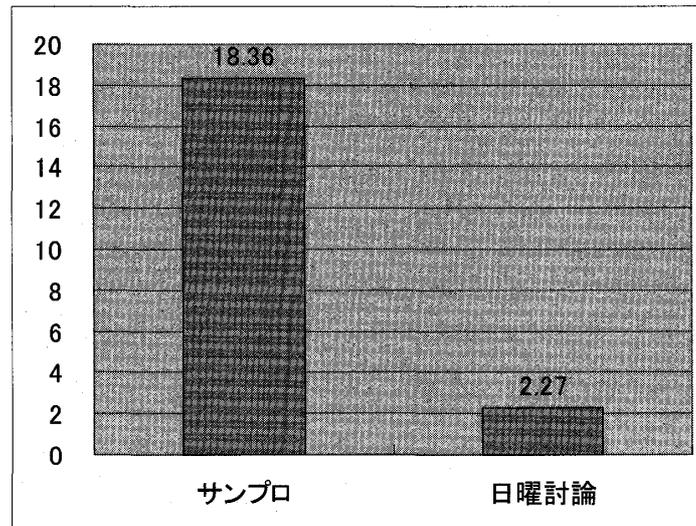


図2. 自分の意見を言う回数

(3) 他者へ意見を求める

サンデープロジェクトでは測定時間の間に「他者へ意見を求める」が27.00回行われ、一方の日曜討論では22.55回となっている。「他者へ意見を求める」回数は両番組において、それほど大きな開きは無いように思われる。これを確かめるため、t検定を行なったところ、t値が1.826となり、有意差は見られなかった。この結果、両番組において「他者へ意見を求める」回数に有意な差のないことが確認された。

視聴者にとっての政治討論番組（常木）

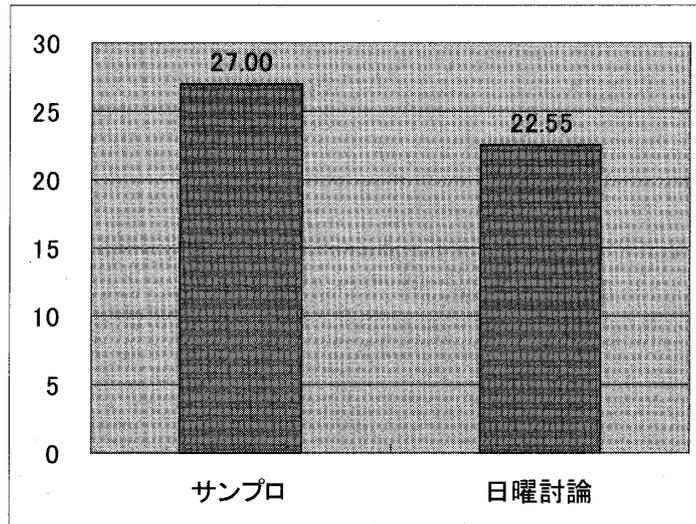


図3. 他者へ意見を求める回数

(4) あいづち

サンデープロジェクトでは測定時間の間に「あいづち」をうつことが35.36回行われ、これに対して日曜討論では12.73回となっている。明らかにサンデープロジェクトのほうが日曜討論よりも「あいづち」を打つ回数が多いように思われる。これを確かめるため、t検定を行なったところ、t値が5.054となり、0.1%レベルで有意差が見られた。この結果、「あいづち」をうつ回数はサンデープロジェクトのほうが日曜討論よりも多いことが確認された。

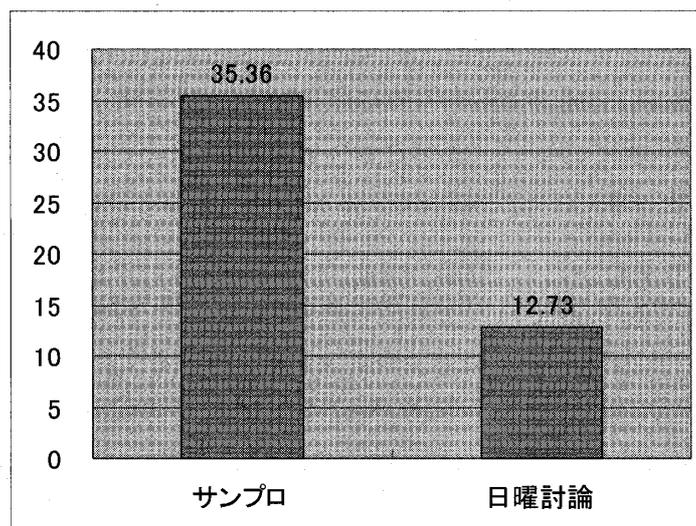


図4. あいづちを打つ回数

(5) 笑顔

サンデープロジェクトでは測定時間（308秒間）の間に「笑顔」を浮かべることが1.64回行われ、一方の日曜討論では1.36回となっている。「笑顔」の回数は両番組において、それほど大きな開きは無いように思われる。これを確かめるため、t検定を行なったところ、t値が0.582となり、有意差は見られなかった。この結果、両番組において「笑顔」を浮かべる回数に有意な差のないことが確認された。

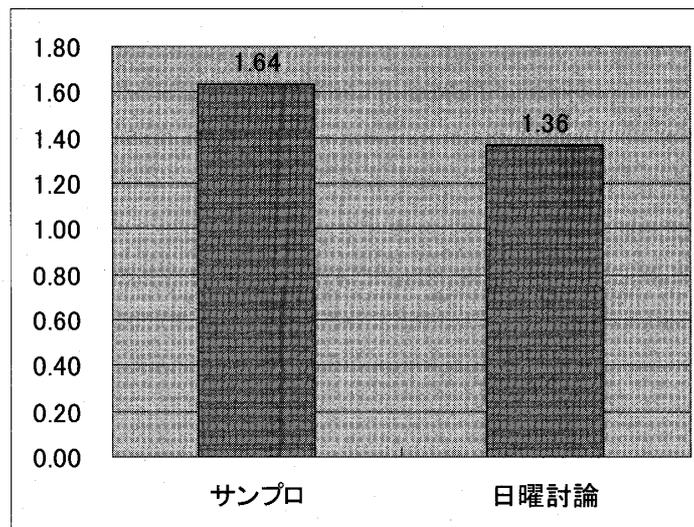


図5. 笑顔を浮かべる回数

(6) 手の動き

サンデープロジェクトでは測定時間（308秒間）の間に「手の動き」が96.36回行われ、一方の日曜討論では136.91回となっている。「手の動き」の回数はこれまでの結果と異なって、日曜討論のほうがサンデープロジェクトよりも多いように思われる。これを確かめるため、t検定を行なったところ、t値が-7.617となり、0.1%レベルで有意差が見られた。この結果、「あいづち」をうつ回数はサンデープロジェクトのほうが日曜討論よりも多いことが確認された。

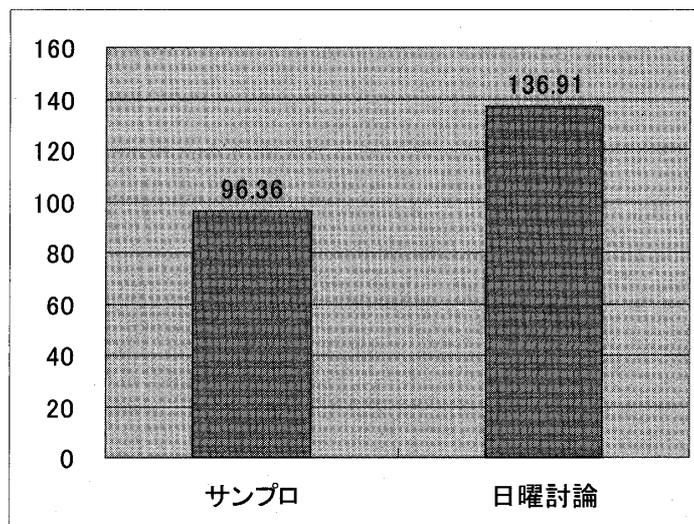


図6. 手の動きの回数

3-2. 印象評定結果

(1) 30項目の平均値と標準偏差

サンデープロジェクトと日曜討論における司会者（キャスター）の「他者の発言中への割り込み」「自分の意見を言う」「他者へ意見を求める」「あいづち」「笑顔」「手の動き」はいったい何を意味しているのだろうか。これらの行動の意味を探るため、30項目についてSD法による印象評定を行なった。評定者は152名である。

この印象評定結果の平均値と標準偏差を示したものが表3、表4である。紙面の都合上、「他者の発言中への割り込み」「自分の意見を言う」「他者へ意見を求める」を表3に、「あいづち」「笑顔」「手の動き」を表4に分割して示した。なお、形容詞は片側（対になったものの左側）だけを簡略化して記載している。

6項目について、それぞれ30項目の平均値に差があるかないかを確認するため、一元配置の分散分析を行なったところ、30項目すべて0.1%レベルで有意差が見られた。

表3. 「割り込み」「意見を言う」「意見を求める」の平均値と標準偏差

	割り込み		意見を言う		意見を求める	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
活性化	4.55	1.59	5.78	1.18	5.97	1.10
攻撃的	5.94	0.99	5.54	1.08	3.64	1.66
苛立ち	5.13	1.14	4.64	1.33	3.68	1.40
勇気付け	3.23	1.25	3.89	1.15	4.23	1.14

支持的	2.76	1.33	3.66	1.37	4.26	1.22
親しみ易い	2.55	1.33	3.82	1.40	4.42	1.35
わかりやすい	3.42	1.38	4.44	1.44	4.66	1.30
親近感	2.71	1.25	3.77	1.38	4.62	1.41
感情的	5.50	1.33	4.91	1.48	3.84	1.49
議論深化	4.70	1.33	5.45	1.17	5.36	1.43
自己主張的	6.17	1.01	6.20	0.93	3.77	1.64
楽しい	3.86	1.60	4.21	1.46	4.07	1.20
アクセントのある	4.89	1.25	5.09	1.14	4.64	1.17
活発	5.50	1.13	5.66	1.08	5.17	1.19
緊張感	5.30	1.15	5.21	1.08	4.72	1.23
熱い	5.99	1.04	5.91	1.03	5.00	1.31
良い	3.80	1.43	4.64	1.40	4.92	1.36
好き	3.18	1.44	3.91	1.48	4.49	1.30
おもしろい	3.88	1.51	4.07	1.49	4.24	1.33
にぎやかな	4.85	1.27	4.80	1.12	4.64	1.26
積極的	5.95	1.01	6.01	1.04	5.16	1.34
明るい	4.34	0.99	4.40	1.04	4.34	1.01
複雑な	4.82	1.24	4.74	1.15	4.27	1.11
暖かい	3.24	1.07	3.70	1.10	4.24	1.10
低俗な	4.04	1.25	3.66	1.21	3.40	1.15
協調的	2.74	1.36	3.46	1.40	5.16	1.44
過剰な	5.25	1.26	4.97	1.00	4.02	1.17
娯楽的	3.53	1.40	3.58	1.27	3.72	1.00
迎合的	3.07	1.19	3.45	1.17	4.61	1.19
柔らかな	2.75	1.23	3.23	1.18	4.32	1.29

表4. 「あいづち」「笑顔」「手の動き」の平均値と標準偏差

	あいづち		笑顔		手の動き	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
活性化	4.81	1.22	4.36	1.28	5.12	1.29
攻撃的	3.14	1.47	2.91	1.52	5.08	1.42
苛立ち	3.23	1.49	2.85	1.42	5.04	1.24
勇気付け	4.42	1.53	4.63	1.41	4.38	3.50
支持的	5.08	1.58	5.11	1.37	4.06	1.14
親しみ易い	4.70	1.44	5.23	1.57	4.21	1.23
わかりやすい	4.48	1.24	4.58	1.17	5.05	1.27
親近感	4.87	1.44	5.33	1.41	4.30	1.18
感情的	3.68	1.51	4.19	1.45	5.58	1.17

視聴者にとっての政治討論番組（常木）

議論深化	4.03	1.41	3.74	1.16	4.67	1.15
自己主張的	3.76	1.53	3.91	1.34	5.62	1.13
楽しい	3.67	1.12	4.40	1.22	4.46	1.36
アクセントのある	4.14	1.34	4.28	1.19	5.24	1.28
活発	4.23	1.30	4.23	1.21	5.60	1.21
緊張感	3.70	1.30	3.04	1.33	4.54	1.14
熱い	4.17	1.27	4.07	1.22	5.63	1.34
良い	4.67	1.33	4.82	1.23	4.42	1.06
好き	4.35	1.31	4.61	1.41	4.18	1.18
おもしろい	3.77	1.08	4.23	1.14	4.41	1.18
にぎやかな	3.81	1.26	4.30	1.13	4.85	1.08
積極的	4.23	1.31	4.20	1.15	5.57	1.12
明るい	4.04	1.02	5.08	1.26	4.89	3.42
複雑な	3.52	1.12	3.63	1.15	3.84	1.14
暖かい	4.42	1.12	4.94	1.40	4.10	0.86
低俗な	3.68	0.95	3.87	0.91	3.92	0.90
協調的	5.19	1.32	5.14	1.40	3.85	1.20
過剰な	3.70	1.24	3.62	1.19	5.02	1.15
娯乐的	3.83	1.12	4.53	1.30	4.05	1.19
迎合的	4.57	1.31	4.82	1.30	3.90	1.07
柔らかい	4.66	1.37	5.20	1.52	3.90	1.12

(2) 因子分析

「他者の発言中への割り込み」「自分の意見を言う」「他者へ意見を求める」「あいづち」「笑顔」「手の動き」について、それぞれの30項目の評定値152名分を因子分析した結果が表5～10である。因子分析は主因子法で、固有値1以上の因子を求め、バリマックス回転を行った。表は回転後の因子負荷量を示し、数値にアンダーラインが引いてあるものは0.5以上の因子負荷量である。なお説明率の合計は「他者の発言中への割り込み」が53.182%、「自分の意見を言う」が53.844%、「他者へ意見を求める」が55.491%、「あいづち」が57.005%、「笑顔」が55.874%、「手の動き」が50.375%である。

a. 他者の発言中への割り込み（発言のさえぎり）

表5は他者の発言中への割り込みことに関する因子負荷行列を示したものである。

表5. 「他者の発言中への割り込み（発言のさえぎり）」の因子負荷行列

	因子							
	1	2	3	4	5	6	7	8
活性化	0.159	0.452	0.269	0.132	0.415	0.086	0.100	-0.025
攻撃的	<u>0.610</u>	0.186	-0.247	0.057	-0.005	-0.149	0.089	0.138
苛立ち	<u>0.549</u>	0.089	-0.225	-0.050	-0.159	-0.055	0.146	-0.159
勇気付け	0.031	0.176	<u>0.592</u>	0.183	0.038	0.016	-0.084	-0.068
支持的	-0.302	0.011	<u>0.635</u>	0.024	0.087	0.070	0.010	-0.134
親しみ易い	-0.247	-0.070	<u>0.694</u>	0.122	0.051	0.188	-0.042	0.024
わかりやすい	-0.250	0.106	0.498	0.165	0.254	0.025	-0.115	0.159
親近感	-0.173	0.024	<u>0.666</u>	0.046	0.134	0.342	0.075	-0.035
感情的	<u>0.685</u>	0.054	-0.096	-0.021	-0.212	-0.084	-0.032	0.138
議論深化	-0.028	0.605	0.191	-0.064	0.213	-0.010	0.191	-0.004
自己主張的	<u>0.738</u>	0.048	-0.123	-0.082	-0.010	-0.165	0.018	-0.051
楽しい	0.011	0.226	0.259	<u>0.733</u>	0.078	0.017	0.069	0.201
アクセントのある	-0.056	<u>0.652</u>	0.233	0.285	-0.098	-0.049	-0.110	0.038
活発	0.171	<u>0.674</u>	-0.045	0.139	0.169	-0.029	0.113	0.142
緊張感	0.050	0.476	-0.022	0.066	0.060	0.048	-0.064	0.512
熱い	0.534	0.309	-0.080	0.034	0.157	-0.036	0.072	0.080
良い	-0.111	0.154	0.212	0.360	<u>0.607</u>	0.266	-0.070	-0.080
好き	-0.201	0.130	0.251	0.506	0.422	0.299	-0.045	-0.016
おもしろい	-0.045	0.285	0.198	0.807	0.045	0.127	-0.101	0.007
にぎやかな	0.268	0.389	0.068	0.223	-0.336	0.045	-0.028	0.087
積極的	0.367	<u>0.561</u>	-0.051	0.014	0.109	-0.030	0.019	0.068
明るい	0.201	0.481	-0.125	0.065	-0.106	0.249	-0.073	-0.112
複雑な	0.126	0.070	-0.072	-0.054	0.048	-0.093	<u>0.762</u>	-0.017
暖かい	-0.033	0.058	0.254	0.166	0.087	<u>0.655</u>	-0.102	0.162
低俗な	0.054	-0.114	-0.104	0.118	<u>-0.667</u>	-0.055	-0.073	-0.080
協調的	-0.376	0.047	0.140	0.014	0.320	<u>0.630</u>	0.094	-0.044
過剰な	0.386	0.143	-0.279	0.011	-0.346	-0.152	0.231	0.367
娯乐的	0.039	-0.095	-0.052	<u>0.508</u>	-0.183	0.159	-0.052	-0.239
迎合的	-0.140	0.060	0.165	0.134	0.022	0.343	0.016	-0.312
柔らかい	-0.246	-0.079	0.074	0.159	0.008	0.487	-0.248	-0.211
説明率	9.911	9.33	8.949	7.313	6.168	5.716	6.168	2.825

第一因子に高い負荷を持つ（0.5以上の因子負荷量、アンダーラインの数値、残りの5項ものも同様）形容詞は「攻撃的な」「苛立たしい」「感情的な」「自己主張的な」である。第二因子に高い負荷を持つものは「アクセントのある」「活発な」「積極的な」である。以下同様に第三因子は「勇気付ける」「支持的な」「親しみ易い」「親近感のある」、第四因子

が「楽しい」「娯楽的な」、第五因子が「良い」「高尚な」、第六因子が「暖かい」「協調的」、第七因子が「複雑な」となっている。これらから他者の発言中の割り込みは、攻撃的、活発で親しみやすく、楽しい、良い、暖かい、複雑などの印象を与えていると理解される。

b. 自分の意見を言う

表6は自分の意見を言うことに関する因子負荷行列を示したものである。

表6. 「自分の意見を言う」の因子負荷行列

	因子						
	1	2	3	4	5	6	7
活性化	<u>0.607</u>	0.240	0.183	0.021	0.077	0.019	-0.138
攻撃的	0.108	-0.004	-0.191	-0.133	0.415	0.288	-0.011
苛立ち	-0.061	-0.091	-0.169	-0.077	0.493	<u>0.574</u>	-0.007
勇気付け	0.192	0.243	<u>0.524</u>	-0.055	-0.052	-0.032	0.215
支持的	0.045	0.182	<u>0.674</u>	0.208	-0.057	-0.239	0.076
親しみ易い	0.059	0.223	<u>0.734</u>	0.312	-0.087	-0.183	-0.008
わかりやすい	0.331	0.291	<u>0.560</u>	0.273	-0.102	0.159	-0.277
親近感	0.113	0.296	<u>0.663</u>	0.281	-0.263	0.045	-0.189
感情的	0.142	-0.099	-0.059	-0.074	0.052	0.584	0.084
議論深化	<u>0.677</u>	0.169	0.285	0.039	-0.150	0.009	-0.085
自己主張的	0.381	0.065	-0.108	-0.064	0.078	0.263	0.118
楽しい	0.229	<u>0.772</u>	0.269	0.191	-0.112	0.049	-0.008
アクセントのある	0.466	0.424	0.197	-0.005	0.280	-0.045	0.019
活発	<u>0.748</u>	0.182	0.141	0.052	0.042	-0.021	-0.031
緊張感	0.240	0.072	-0.067	-0.067	0.394	-0.028	-0.280
熱い	<u>0.702</u>	0.115	-0.008	-0.095	0.278	0.060	0.008
良い	0.359	<u>0.571</u>	0.286	0.202	0.052	-0.215	-0.116
好き	0.149	<u>0.738</u>	0.319	0.179	-0.032	-0.278	0.005
おもしろい	0.279	<u>0.752</u>	0.194	0.181	-0.106	-0.069	0.034
にぎやかな	0.406	0.350	0.064	0.119	0.112	0.035	0.466
積極的	<u>0.795</u>	0.072	0.040	0.004	0.033	0.036	0.071
明るい	0.318	0.395	0.142	0.308	0.012	0.050	0.359
複雑な	0.016	-0.003	-0.013	0.003	<u>0.528</u>	0.013	0.051
暖かい	0.030	0.229	0.198	<u>0.518</u>	-0.090	-0.124	-0.023
低俗な	-0.295	-0.104	-0.072	0.002	0.142	0.301	0.456
協調的	0.129	0.078	0.465	0.402	-0.049	-0.288	-0.100
過剰な	0.154	-0.216	-0.131	-0.150	<u>0.577</u>	0.194	0.258
娯楽的	0.036	0.352	0.365	0.491	-0.060	0.098	0.114

迎合的	0.006	0.044	0.158	<u>0.729</u>	-0.008	-0.120	0.082
柔らかい	-0.315	0.194	0.090	0.483	-0.215	0.026	-0.038
説明率	13.033	10.834	10.146	6.856	5.306	4.45	3.22

第一因子に高い負荷を持つ形容詞は「積極的な」「活発な」「熱い」「議論を深化させる」「活性化させる」である。第二因子に高い負荷を持つものは「楽しい」「おもしろい」「好きな」「良い」である。第三因子は「親しみ易い」「暖かい」「親近感のある」「わかりやすい」「勇気付ける」、第四因子が「迎合的な」「暖かい」、第五因子が「過剰な」「複雑な」、第六因子が「苛立たしい」となっている。これらから自分の意見を言うことは、積極的、活発で親しみやすく、楽しいなどの印象を与えている一方で迎合的で、過剰な、苛立たしい印象を与えていると理解される。

c. 他者へ意見を求める

表7は他者へ意見を求めることに関する因子負荷行列を示したものである。

表7. 「他者へ意見を求める」の因子負荷行列

	因子						
	1	2	3	4	5	6	7
活性化	-0.241	0.462	0.090	0.062	0.038	0.017	0.420
攻撃的	<u>0.751</u>	0.148	-0.213	0.085	-0.151	-0.069	-0.063
苛立ち	<u>0.752</u>	0.122	-0.179	-0.012	-0.174	-0.110	0.076
勇気付け	0.052	-0.012	0.473	0.249	0.343	0.081	0.097
支持的	-0.157	-0.058	<u>0.640</u>	0.217	0.192	0.060	0.304
親しみ易い	-0.324	-0.006	<u>0.837</u>	0.071	0.113	-0.113	0.104
わかりやすい	-0.214	0.159	0.677	0.327	-0.070	0.052	-0.162
親近感	-0.368	-0.010	0.719	0.117	0.213	-0.065	-0.040
感情的	<u>0.645</u>	0.098	-0.115	-0.251	0.003	0.018	-0.140
議論深化	-0.095	0.381	0.194	-0.223	-0.104	0.211	-0.013
自己主張的	<u>0.676</u>	0.146	-0.275	0.063	0.033	0.140	-0.179
楽しい	-0.079	0.313	0.267	<u>0.582</u>	0.078	0.079	-0.101
アクセントのある	0.066	<u>0.532</u>	0.042	0.270	0.002	-0.099	-0.036
活発	-0.006	<u>0.724</u>	0.126	0.059	-0.009	0.054	0.098
緊張感	0.158	<u>0.606</u>	-0.171	0.130	-0.164	-0.011	-0.020
熱い	0.158	<u>0.634</u>	-0.085	0.097	0.002	0.342	0.044
良い	-0.410	0.340	0.197	0.402	0.118	0.395	0.173
好き	-0.393	0.255	0.076	<u>0.646</u>	0.155	0.150	0.051

視聴者にとっての政治討論番組（常木）

おもしろい	-0.097	0.397	0.279	<u>0.675</u>	0.153	-0.019	-0.042
にぎやかな	-0.007	<u>0.570</u>	-0.048	0.186	0.084	0.011	0.019
積極的	0.178	<u>0.549</u>	-0.125	0.188	0.073	0.454	0.002
明るい	0.060	0.376	0.141	0.291	0.417	0.198	-0.173
複雑な	0.185	0.436	0.022	-0.083	0.184	-0.075	-0.123
暖かい	-0.177	-0.041	0.494	0.171	<u>0.508</u>	0.116	-0.113
低俗な	<u>0.574</u>	-0.305	0.001	-0.033	-0.101	0.075	0.025
協調的	-0.474	-0.085	0.299	0.102	0.362	0.124	0.374
過剰な	<u>0.566</u>	0.386	-0.128	-0.086	-0.053	0.054	0.075
娯乐的	0.076	-0.030	0.240	<u>0.504</u>	0.120	-0.016	0.153
迎合的	-0.321	0.095	0.145	0.140	<u>0.635</u>	-0.094	0.229
柔らかな	-0.426	-0.055	0.375	0.177	<u>0.573</u>	-0.018	-0.043
説明率	13.472	12.298	11.251	7.84	5.82	2.416	2.393

第一因子に高い負荷を持つ形容詞は「苛立たしい」「攻撃的な」「自己主張的な」「感情的な」「低俗な」である。第二因子に高い負荷を持つものは「活発な」「熱い」「緊張感のある」「にぎやかな」「積極的な」「アクセントのある」である。第三因子は「親しみ易い」「支持的な」「親近感のある」「わかりやすい」「勇気付ける」、第四因子が「おもしろい」「好きな」「楽しい」「娯乐的な」、第五因子が「迎合的な」「柔らかな」「暖かい」となっている。これらから他者へ意見を求めることは、苛立たしく攻撃的で、活発で親しみやすく、おもしろく、迎合的などの印象を与えていると理解される。

d. あいづち

表8はあいづちを打つことに関する因子負荷行列を示したものである。

表8. 「あいづち」の因子負荷行列

	因子						
	1	2	3	4	5	6	7
活性化	0.172	-0.152	<u>0.544</u>	0.289	0.013	-0.061	-0.147
攻撃的	-0.278	<u>0.626</u>	-0.074	0.023	-0.344	-0.047	0.096
苛立ち	-0.194	<u>0.635</u>	-0.088	0.082	-0.340	0.012	0.085
勇気付け	<u>0.571</u>	-0.110	0.325	-0.153	0.160	-0.006	-0.119
支持的	<u>0.776</u>	-0.156	0.105	-0.037	0.146	-0.076	-0.098
親しみ易い	<u>0.779</u>	-0.154	0.213	-0.056	0.241	0.027	-0.040
わかりやすい	<u>0.700</u>	-0.175	0.129	0.165	0.002	-0.045	-0.043
親近感	<u>0.735</u>	-0.171	0.227	0.104	0.254	0.148	-0.032

感情的	-0.095	<u>0.673</u>	-0.111	0.171	-0.108	-0.055	0.039
議論深化	0.101	0.034	0.250	<u>0.574</u>	-0.031	-0.015	-0.090
自己主張的	-0.323	<u>0.662</u>	0.050	0.190	-0.086	0.008	0.069
楽しい	0.181	0.191	<u>0.689</u>	0.039	-0.059	0.206	0.126
アクセントのある	0.166	0.160	<u>0.681</u>	0.150	0.165	0.098	-0.068
活発	-0.014	0.336	0.428	<u>0.512</u>	0.158	0.129	0.011
緊張感	-0.148	<u>0.524</u>	0.100	0.290	-0.043	-0.230	0.371
熱い	-0.032	0.463	0.337	0.374	0.056	0.009	-0.138
良い	0.221	-0.206	<u>0.717</u>	0.122	0.323	0.094	0.002
好き	0.384	-0.190	<u>0.676</u>	0.087	0.226	0.131	0.022
おもしろい	0.293	0.055	0.393	0.253	-0.024	0.301	0.386
にぎやかな	0.019	0.446	0.171	0.388	0.048	0.285	0.145
積極的	-0.102	0.302	0.270	<u>0.735</u>	0.100	0.110	0.065
明るい	0.040	0.089	0.097	0.341	0.129	0.667	-0.070
複雑な	0.017	0.200	-0.096	0.616	-0.040	-0.008	0.141
暖かい	0.263	-0.194	0.324	0.301	0.390	0.222	-0.074
低俗な	-0.096	0.027	-0.088	-0.063	-0.089	-0.050	0.453
協調的	0.180	-0.214	0.160	-0.037	0.487	0.239	-0.245
過剰な	-0.137	0.334	0.150	0.321	0.135	0.012	0.510
娯乐的	-0.081	-0.141	0.175	-0.150	0.124	<u>0.649</u>	-0.028
迎合的	0.212	-0.072	0.143	0.034	<u>0.752</u>	0.064	0.032
柔らかな	0.301	-0.437	0.081	0.040	<u>0.621</u>	0.096	-0.021
説明率	11.615	11.096	11.086	8.53	6.844	4.525	3.299

第一因子に高い負荷を持つ形容詞は「親しみ易い」「支持的な」「親近感のある」「わかりやすい」「勇気付ける」である。第二因子に高い負荷を持つものは「感情的な」「自己主張的」「苛立たしい」「攻撃的」「緊張感のある」である。第三因子は「良い」「楽しい」「アクセントのある」「好きな」「活性化させる」、第四因子が「積極的な」「議論を深化させる」「活発な」、第五因子が「迎合的な」「柔らかな」、第六因子が「娯乐的な」となっている。これらからあいづちを打つことは親しみ易く、感情的、良いことで積極的、迎合的で娯乐的などの印象を与えていると理解される。

e. 笑顔

表9は笑顔を浮かべることに関する因子負荷行列を示したものである。

表9. 「笑顔」の因子負荷行列

	因子					
	1	2	3	4	5	6
活性化	0.407	0.281	0.032	0.191	-0.114	-0.108
攻撃的	-0.406	-0.023	<u>-0.678</u>	0.072	0.252	-0.071
苛立ち	-0.388	0.052	<u>-0.715</u>	0.074	0.322	-0.200
勇気付け	<u>0.652</u>	0.245	-0.002	-0.214	-0.370	-0.003
支持的	<u>0.653</u>	0.207	0.060	-0.081	-0.189	0.061
親しみ易い	<u>0.876</u>	0.008	0.080	-0.016	-0.110	0.190
わかりやすい	<u>0.596</u>	0.308	0.003	0.136	-0.011	-0.014
親近感	<u>0.866</u>	0.042	0.021	-0.057	-0.145	0.136
感情的	-0.012	0.043	-0.080	0.017	0.383	0.201
議論深化	0.080	0.275	0.024	<u>0.549</u>	0.197	-0.049
自己主張的	-0.267	0.156	-0.176	0.256	0.424	0.194
楽しい	0.474	<u>0.567</u>	0.037	0.039	-0.041	0.135
アクセントのある	0.253	<u>0.640</u>	0.007	0.206	-0.010	0.012
活発	0.132	<u>0.654</u>	0.061	-0.141	0.141	0.215
緊張感	-0.377	0.173	-0.236	<u>0.533</u>	0.342	0.053
熱い	0.047	0.457	-0.027	0.088	0.042	0.011
良い	<u>0.626</u>	0.483	0.287	-0.073	-0.063	0.043
好き	<u>0.688</u>	0.267	0.283	0.009	-0.034	0.158
おもしろい	0.403	0.362	0.185	0.028	0.113	<u>0.618</u>
にぎやかな	0.107	0.402	0.080	-0.100	0.178	<u>0.563</u>
積極的	0.092	<u>0.644</u>	0.068	0.145	0.102	0.267
明るい	<u>0.521</u>	0.320	0.436	-0.264	0.088	-0.014
複雑な	-0.175	0.002	-0.096	<u>0.708</u>	-0.014	-0.006
暖かい	0.587	0.255	0.436	-0.189	-0.062	-0.079
低俗な	0.010	-0.197	-0.223	-0.183	0.398	-0.240
協調的	<u>0.665</u>	0.116	0.394	-0.071	0.005	-0.004
過剰な	-0.091	0.148	-0.013	0.137	<u>0.501</u>	-0.008
娯乐的	<u>0.625</u>	0.121	0.169	-0.195	0.110	0.038
迎合的	<u>0.726</u>	0.141	0.320	-0.164	-0.046	0.045
柔らかい	<u>0.755</u>	-0.121	0.401	-0.087	0.003	0.052
説明率	24.553	10.285	7.252	5.394	4.623	3.767

第一因子に高い負荷を持つ形容詞は「親しみ易い」「親近感のある」「好きな」「柔らかい」「迎合的な」「支持的な」「勇気付ける」「協調的な」「良い」「娯乐的な」「わかりやすい」「明るい」である。第二因子に高い負荷を持つものは「活発な」「積極的な」「アクセントのある」「楽しい」である。第三因子は「苛立たしい」「攻撃的な」、第四因子が「複雑な」「議

論を深化させる」「緊張感のある」、第五因子が「過剰な」、第六因子が「おもしろい」「にぎやかな」となっている。これらから笑顔を浮かべることは、親しみ易く支持的で、活発で、苛立たしく、複雑、過剰でおもしろいなどの印象を与えていると理解される。

f. 手の動き

表10は手を動かすことに関する因子負荷行列である。

表10. 「手の動き」

	因子						
	1	2	3	4	5	6	7
活性化	0.482	0.249	0.016	0.424	0.058	-0.017	0.085
攻撃的	<u>0.552</u>	-0.069	-0.091	0.004	-0.006	0.230	-0.122
苛立ち	<u>0.726</u>	-0.038	0.044	0.048	-0.178	0.342	-0.173
勇気付け	0.007	0.033	0.056	-0.025	0.322	0.010	0.105
支持的	-0.142	0.226	0.379	0.279	<u>0.594</u>	-0.189	-0.109
親しみ易い	-0.048	0.299	<u>0.540</u>	-0.018	0.283	-0.249	0.291
わかりやすい	0.235	0.387	0.321	0.342	0.138	-0.143	0.106
親近感	-0.047	0.365	0.400	0.227	0.239	-0.007	0.489
感情的	<u>0.766</u>	0.018	0.085	0.153	-0.009	-0.080	-0.129
議論深化	0.115	0.084	-0.036	<u>0.721</u>	-0.049	-0.125	-0.013
自己主張的	<u>0.739</u>	0.076	-0.131	-0.003	-0.045	-0.041	0.050
楽しい	0.223	<u>0.658</u>	0.162	0.131	0.176	0.231	-0.062
アクセントのある	0.409	0.492	0.242	0.061	0.096	-0.023	0.097
活発	<u>0.752</u>	0.137	0.072	0.115	0.132	0.020	0.284
緊張感	0.396	0.096	-0.069	0.361	-0.226	0.041	0.067
熱い	<u>0.787</u>	0.214	-0.117	0.005	-0.002	-0.157	0.083
良い	0.148	<u>0.625</u>	0.137	0.195	-0.038	-0.152	0.265
好き	0.024	<u>0.775</u>	0.145	-0.033	0.042	-0.059	0.105
おもしろい	0.209	<u>0.684</u>	0.074	0.056	0.063	0.268	-0.024
にぎやかな	0.496	0.301	-0.063	-0.104	0.128	0.122	-0.201
積極的	<u>0.707</u>	0.267	-0.113	-0.064	0.075	-0.118	-0.004
明るい	-0.067	0.070	-0.006	0.018	-0.003	0.106	0.021
複雑な	-0.141	-0.071	0.095	0.351	-0.458	-0.078	0.047
暖かい	0.029	0.285	0.186	-0.035	0.203	0.216	0.368
低俗な	0.114	-0.012	-0.001	-0.178	-0.029	0.499	-0.010
協調的	-0.065	0.194	<u>0.567</u>	0.006	-0.206	-0.263	0.208
過剰な	<u>0.570</u>	0.063	-0.204	0.210	0.086	0.182	0.158
娯楽的	0.186	0.270	0.372	-0.074	0.194	0.374	0.127

視聴者にとっての政治討論番組（常木）

迎合的	-0.136	0.228	<u>0.691</u>	-0.055	0.089	0.056	-0.121
柔らかい	-0.170	-0.018	<u>0.610</u>	0.029	0.091	0.197	0.080
説明率	17.026	10.447	7.678	4.682	3.819	3.725	2.998

第一因子に高い負荷を持つ形容詞は「熱い」「感情的な」「活発な」「自己主張的な」「苛立たしい」「積極的な」「過剰な」「攻撃的な」である。第二因子に高い負荷を持つものは「好きな」「おもしろい」「楽しい」「良い」である。第三因子は「迎合的な」「柔らかい」「協調的な」「親しみ易い」、第四因子が「議論を深化させる」、第五因子が「支持的な」となっている。これらから手を動かすことは、熱くて活発で、おもしろく、迎合的で、議論を深化させ、支持的などの印象を与えていると理解される。

4. 考察

サンデープロジェクトは「他者の発言中への割り込み」、「自分の意見を言う」、「あいづち」の回数で、日曜討論を上回っている。「他者の発言中への割り込み」は攻撃的、活発で親しみ易く、楽しい、良い、暖かい、複雑などの印象を与え、「自分の意見を言う」ことは、積極的、活発で親しみ易く、楽しいなどの印象を与えている一方で迎合的で、過剰な、苛立たしい印象を与え、「あいづち」を打つことは親しみ易く、感情的、良いことで積極的、迎合的で娯乐的などの印象を与えている。司会者がゲストに発話権、発言権を分配する役に徹して、中立的な立場を守る日曜討論が際立った印象を視聴者に与えていないのに対し、サンデープロジェクトは良い意味でも悪い意味でもメリハリが利いている。討論を親しみ易く、楽しい、活発化させるなどの好印象を与える一方で、攻撃的、感情的、苛立たしさ、迎合的といったやや否定的な印象も与えている。サンデープロジェクトの田原総一郎の特徴的な言動はゲストを刺激するのみならず、視聴者の感受性をも刺激している。これにより政治討論番組を視聴者がおもしろく感じ、それに興味を示すようにしている。サンデープロジェクトに代表される政治討論番組は視聴者にとっては、政治そのものに興味を持つようになっているのかどうかはわからないが、少なくとも政治討論を楽しみ、身近にしていることは間違いのないところであろう。

—2006.12.19受稿—